

# くまがい俊人千葉県知事への要請

千葉県知事選挙が行われ(3/4~3/21:投票率 38.99%)くまがい俊人さんが140万票超の圧倒的得票(70.47%)で知事に選ばれました。

くまがい知事にはこれまでの森田県政とは違う、県民の声を聞き現場主義とその行動力で新しい千葉県政を作り上げて欲しいものです。

目の前の新型コロナウイルス感染症対策では、一日も早くPCR検査と医療体制を構築し、更に安全性を確保したうえでのワクチン接種体制も万全のものにしていただきたい。

森田県政では昨年の夏頃すでにPCR検査3万件/日以上必要なことがわかっていたのにいまだに1万数千件/日の能力しか用意できていない。無症状者へのPCR検査の必要性も理解していない。又、中等症感染者用の病床を用意するため30億円の補正予算をつけていたのにまったく手付かず、第三波では「医療病床の逼迫」と危機感を語り「お国に・・・」というだけ・・・。こんなことがないように、くまがい知事にはリーダーシップをもって“科学的な精密医療と検査体制”を作り上げ620万県民を安心させて欲しいです。

一昨年の台風15号では、停電、屋根のかわらが飛び、ブルーシートもない大変な状況だったのに県はすぐに対策本部を立ち上げず、やっと立ち上げたら県民の被害状況視察でなく知事自身の自宅を視察する危機管理ゼロ、非常時対応もまったくない状況でした。くまがい知事には千葉市長11年の経験を活かして災害対応・危機管理の体制を作り動いてもらいたい(今でも多くのブルーシートの家のまま・・・)。

コロナ禍であぶりだされた医療・介護・福祉・社会的セーフティネットの脆弱性を解決するため620万県民一人ひとりに寄り添う地域ケアと共生社会を“公”の責任をもって作り上げて欲しいです。プライマリーヘルスケア、障がい者への合理的配慮、高齢者が寝たきりにならない介護、地域の見守りで認知症の方でも主体的に生活できる社会を。又、赤ちゃんやお子さんが安心してすくすく成長できる保育・幼児教育・給食費の無償化、生活保障と居住の保障、LGBT・男女共同参画のハーモニー社会を力強く創って欲しいです。

21世紀をリードする産業も、気候変動に対応すべく千葉県のもつ生物多様性の豊かな自然との共生、生態系ネットワークの中で、地域分散型の脱原発・再生可能エネルギーを構築し、地域分散型産業で千葉県独自の農業・漁業・工業・知識集約型産業を創って欲しいものです。

又、平和であればこそその未来への夢・ビジョンです。安全保障の問題・オスプレイの問題も県民の命と生活を守る立場から平和主義を貫いていただきたいです。

ちなみに鎌ケ谷市にとっても千葉県知事の判断は大きな意味を持ちます。

北千葉道路の課題、北総鉄道高運賃引き下げ、初富右折車線、洪水対策としての大柏川第二調節池、生産緑地問題と都市農業、感染症対策の保健所の機能強化、病診連携での地域医療体制、高齢者・障害者・子育て政策、学校教育の有り様などなどに県知事のビジョンがかかわってきます。

県民・市民が県政に参画できるしくみをつくり620万県民が知事と共に未来に希望の持てる千葉県を造っていける自治の県政を作っていきたいものです。

「民主主義と自治そして平和主義」ふじしろ政夫 047-445-9144

\*活動報告HPに掲載「いい鎌ケ谷ふじしろ政夫」でアクセスできます。

